桜の中央公園と天覧山 © photo by Hiroyuki Maejima

世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R.マッキナリー
第2570地区ガバナー 髙丹秀篤
第３グループガバナー補佐 齋藤栄作

希望を語ろう We are Rotary, together

第3107例会 2024. 3. 6

―― 水と衛生月間 ――

天 候 雨 （NO. 60-36）
会 長 馬場正春 **幹 事** 神田敬文
例会日 水曜日（12:30～13:30） 当 番 田辺君、志岐君

例会場：ホテル・ヘリテイジ飯能sta.
☎（042）975－1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21
事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町１－７
☎（042）973－1661 FAX（042）973－1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail：hannorc@hanno.jp

・**点 鐘** 馬場会長
・**ソング** 君が代 奉仕の理想
・**四つのテスト唱和** 安藤職業奉仕委員
・**卓 話** 中村 力様

【会長報告】
３／16・17地区大会（深谷）は７月に発行される渋沢さんの新札を中心にした内容になると思います。渋沢栄一の研究者・明治大学教授の齋藤孝さんのトークショーにはＦＭＮＡＣＫ５の三遊亭鬼丸さんも参加するそうです。飯能からは25名位の参加予定ですがバス席にはまだ空きがあります。是非17日㈰の参加をお願いします。
「ロータリーの友」に髙丹ガバナーの紹介が載っていました。米国パナソニックの社長として、仲間に支えられながら16年間米国で過ごされたとのこと。今後重要なのは世界平和に貢献する人材の育成であり、青少年奉仕に資金と労力を注いでいきたいとおっしゃっています。
４月、入会３年～10年未満の会員を対象にロータリー情報委員会の炉辺会談が開催されます。地区でも「おたくのクラブではどれくらい勉強会をやっていますか」と必ず聞かれます。大事なことですので是非出席をお願いします。増強に欠かせないのは現会員数を維持することでもあります。よろしくお願いします。

【幹事報告】
卓話講師の中村様と私は同い年で、塾が一緒でした。第10回理事会で第２回炉辺会談が承認、ご出席をお願いします。３／13第５回パスト会長会議。地区大会へのご参加お願いします。本日、第３回会長幹事会（所沢）。前ガバナーの予算執行不明点の詳細を聴きます。３月のRIレート１ドル151円。

【委員会報告】
◎次年度幹事 大﨑君
４／10「次年度役員委員長顔合わせ会」18時半「清河園」。出欠は３／27まで。
◎60周年記念事業実行委員会 土屋君
４／10「顔合わせ会」の際に経過のご説明をしたいと思います。よろしくお願い致します。

◎細田㈱会員よりお願い
３／23㈯「ペットボトルロケット体験」を５歳から中学生を対象に開催します。会場は岩沢運動公園。私の会社の方にお申し込み下さい。よろしくお願いします。

【出席報告】 無届欠席１ 山口出席向上委員

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
64名	4名	55名	85.94%

【M　U】
3/2（地区）森君、吉澤君
3/6（第3G）馬場君、神田君

【結婚・誕生日祝】　坂本(淳)親睦活動委員
◇古希おめでとう　小川晃男君

◇入会記念日おめでとう
中里(昌)君、市川君
◇結婚記念日おめでとう
川口君、矢島(高)君、本間君、鳥居君
大津君（両親）、杉田君、吉田(行)君、鎌田君
◇会員誕生日おめでとう
大野(康)君、小川君、鳥居君、杉田君
内沼君、前島君
◇夫人誕生日おめでとう
原島夫人、神田夫人、吉島夫人、伊澤夫人
吉澤夫人、鈴木(康)夫人、大津様（母）
鎌田夫人

【SAA報告】
◎ニコニコBOX
・古希のお祝い誠に有難うございます。　小川君
・中村教育長様、本日は卓話よろしくお願い致します。　大野(康)君、新井君、細田(伴)君　馬場君、髙橋君、沢辺君、森君、本橋君　神田君
・入会記念日お祝い有難うございます。お蔭様で33年無欠席で通しました。　中里(昌)君
・結婚記念日お祝い有難うございます。
矢島(高)君、吉田(行)君、鳥居君　永安寺君、鎌田君
・誕生日お祝い有難うございます。
鳥居君、大野(康)君
・妻の誕生日お祝い有難うございます。
伊澤君、神田君、川口君、吉澤君　鈴木(康)君、原島君、鎌田君
・早退します。　半田君

本日計88,000円、累計額771,501円。
◎13日例会当番は髙橋、土屋会員です。

【卓　話】
講師紹介　大野(康)環境保全委員長
飯能市白子のお生まれ。現在も白子在住。原市場中から社会科教員を始められました。現在、飯能RC青少年奉仕委員会が支援する「せせらぎ杯」卓球大会、主担当の岡部先生は、当時、原中女子卓球部の顧問で、強かったそうです。生徒数が増えて男子卓球部を新設することとなり、中村様が顧問となられ「せせらぎ杯」もその時に始まったとのこと。
13年前、校長として飯能に戻られ、南高麗小、美杉台中に勤務され、H30年3月に定年。その後、教育委員会の下で初任者教員の指導のため市内小中学校を回られ、R3年9月、現職に就任されました。

飯能市の環境教育の成果と展望

飯能市教育長　中村　力様

日頃より教育委員会の事業に多大なるご支援を頂き深く感謝申し上げます。特に市内小中学校への長きにわたるご寄付は学校環境教育推進に欠かせないものとなっております。

飯能市のめざす環境像としては「**水と緑と共にみらい輝くまち はんのう**」と環境基本計画に謳われています。カーボンニュートラルの実現に取り組んでおり、現在、目標値は達成しているようです。クリーンセンターが新しくなったことが大きいようで、市の排出する温室効果ガスがかなり減少しているとのこと。ただ、R12年の中間目標に向けては48.9%の削減をしなければいけないというところです。
「森林文化都市」を次世代に継承するため、市では8つのことに取り組んでおり、各学校に「**水と緑の学習**」をお願いしています。飯能の豊かな自然に触れる、川や山の植物や生物の観察・保存、西川材を活用した木工品製作、農作物作り、等。コロナ禍で停止していますが、谷津田再生への参加、高麗川源流の清掃等は地域の皆様のご支援を頂いて行っているものです。私も現役の教師時代によく参加させてもらいましたが、植物や生物の観察をした時の子ども達

の目の輝きを覚えています。土作りから行う農作物作りは子ども達に作物作りの大変さや良い環境の必要性を体験させ、収穫の喜びを倍にしてくれました。収穫祭では苦労して育てた農作物を残さず食べてくれていました。米作りは南高麗小、美杉台小で実施しました。種や苗、作業用具等の購入には飯能RC様のご寄付を活用させて頂いています。

教育委員会では人材育成の教育をしながら飯能市のめざす環境像の実現に取り組んでいます。

文科省学習指導要領の目標に向けては各教科で取り組んでおり、そこでも飯能RC様からのご寄付を活用させて頂いています。

幼稚園では川遊び・山遊びで自然環境と触れ合うことが大切だとされています。名栗には飯能の他地区からも子ども達が来ているのですが、放課後に友達と遊ぶことがなかなかできないというのは少しかわいそうなところです。それをカバーするため幼稚園は頑張ってくれています。

幼稚園での体験を活かし、**小学校**では自分で作業したり調べたりという学習が入ってきます。飯能一小では、堆肥作りから野菜作りまでの循環を理科、総合家庭科等の教科を横断して行っています。農作物作りは仲間と共に協力しながら作業する「心の環境教育」にもなっています。原市場小では理科で二酸化炭素、酸素の測定をする機器を購入しました。このように授業で使う教材を購入させて頂いている学校も多々あります。精明小では花の植栽を総合の時間に行っています。春と秋に大規模に植栽するのですが、ご寄付から苗や土を購入しています。規模の大小はありますが花の植栽はほとんどの学校で行っています。花のある環境は子ども達にとっても本当に大切なことです。

小学校の学習を基に、**中学校**では、環境をどう考えどのように対応していくか等、自分達で考えていきます。飯能西中は通学路清掃を特別活動の時間に全校で実施。特色は、生徒会活動ということで、ボランティアで参加してくれる生徒を募集して実施するというところです。生徒が主体的に地域の環境保全に関わる活動で、清掃用具等をご寄付で購入させて頂いていますが、生徒会主体の清掃活動は他にも多くの学校で取り組んでもらっています。南高麗中では野菜作りを総合の時間に実施。「南高麗地区まちづくり推進委員会」の皆様にご協力を頂いて大規模に野菜作りを行っています。地域の催し物で配ることもあるようで、収穫した作物をどのように消費していくかというのも、大切な環境教育の一つになっています。また、原市場中では特別支援学級の野菜作りを環境教育として行っています。特別支援学級の自立活動にも繋がってくるということで非常に効果的な教育になっております。

以上のように頂いたご寄付で多様な取り組みができており、心より感謝申し上げます。

学習指導要領の中には「**持続可能な社会の担い手の育成**」ということが多く出てきます。そのための教育として出てきたのが**ESD**「持続可能な開発のための教育」です。教育委員会が学校にお願いしているESDから３点ご紹介します。

❶「西川林業クラブ」にご協力を頂いて、小３対象に間伐材の伐採から加工までを行っています。市・農林部と連携し、西川材の天板を市内全ての小６、中３の生徒に使ってもらっています。西川材の良さを知ってもらうことで西川材活用の一つにとの期待をもって取り組んでいるところです。

❷資源ごみの回収

❸本市が目指す「**学びの改革**」

“VUCAの時代”に力強く生きることができる力を身につけさせ、未来で輝く子ども達を育成することが第一の目標なのですが、その先には、ESDの関連で「自分の子どもにも飯能の教育を受けさせたい」と考えて頂ける教育によって循環型社会の構築ができればと期待している取り組みでもあります。誰一人孤立させず、質の高い学びを保障する、創造的・探究的・協働的な学びを市内全小中学校で実践できるよう、学校と教育委員会が一体となって取り組んでいます。

授業の流れは、探究的な課題を子ども達で学び合い、その後、できそうでできない「**ジャンプの課題**」に挑戦するという授業です。

この授業は先生が説明するということがありません。子ども達同士でタブレットを活用しながら学び合いを進めていきます。ただ、学び合いと言っても、できた子ができない子に教えるというものではなく、この学び合いは、できない子の「わからない」から始まる学び合いです。あるいは、できた子同士の対話で始まることもあります。その対話の内容を教師が拾い上げ、全体に繋いで、より深い学び合いにしていくこともあります。

「学びの改革」の充実のため、先生方は研修を続けています。授業公開を最低年１回行うというのが教育委員会の行っていることです。市内に教員は400人以上いるので、年間400回以上、毎日どこかで授業公開が行

われていることになります。

今月１日には世界中から同じ教育を実践する教育者が集まる国際会議が、双小、富士見小でありました。「学びの改革」は学力だけでなく生活面でも良い状況が出てきます。「学びの改革」の取り組みが充実している学校、双小、富士見小等では、非常に落ち着いて静かに子ども達が支え合いながら授業が展開されており、子どもの問題行動が減ることが実証されています。全国的な課題でもある不登校の未然防止にも繋がるのではと、飯能市として期待しているところです。

不登校対策の一つとして、学校内の居場所作り、気軽に登校できる「**サポートルーム**」の設置を飯能市では推進しています。現在６校に設置されていますが、美杉台中では、不登校の子が隠れやすいパーテーションを木材で作ってもらったりしています。

さらに、本市でやりたいことの中に「**教育メタバース**」があります。これは仮想空間に学校を作り、不登校の児童・生徒がそこに参加して学習するというシステムで、県内でもいくつかの自治体で実施されています。不登校児童・生徒の中でも特に、全く外に出られないというお子さんが飯能市にも30名程居るのですが、そういうお子さんに対しては大変有効な手段だということです。ただ予算が高いもので、教育委員会への直接のご支援もお願いできたらと思います。

「学びの改革」を成功させるには、探究的な課題や意欲が高まる「ジャンプの課題」を設定することが大きなポイントです。市内の授業を参観して面白いと思った課題を紹介します。

小３算数「ものの数と間の数の関係」の授業。探究的な課題として出てきたのがこういった文章。この文章を読んでも子ども達の意欲が湧かないので先生はこのような図を示して探究させます。こうすると木は５本あるけれど間は４つしかないことが分かってくるわけです。中学の関数に繋がるポイントの授業です。さらに「ジャンプの課題」ではこういった３つの間のある数字が並んで、10を１番目にする100は何番目か、という逆の発想で、マイナスをプラスにするという考え方でやってみたり、と、課題を工夫しています。

中学校の社会科では、藤原氏の絶大な権力が何故もてるようになったのかを、藤原氏の系図を見ながら研究しています。「ジャンプの課題」として、続かなかったのは何故かというので、系図をずっと見て一番下にいくと後三条天皇が出てきます。後三条天皇はご存じのように藤原氏とは姻戚関係が無い天皇です。そこに気づいてくれるかどうかというところが大きなポイントで、そこに気づいた子ども達はそこから先、後三条天皇がどんな政策をやっていったかを進んで調べてくれます。

国語の『枕草子』『徒然草』の授業では、平安時代に生きていると仮定して、友達と待ち合わせるにはどうすればいいかという課題もありました。『枕草子』を読んでいくと「朝」の時間帯を表現した内容が多いのですが、そこに気づくかどうかが教師のねらいでした。

如何に本当の学び合いをして子ども達に主体性を育てるかというところで教師達は一生懸命やっております。この辺りのご理解も是非よろしくお願いできたらと思います。

最後に、「持続可能な社会の担い手の育成」として、学校以外にも市内で取り組んで頂いている団体がございます。「**飯能SDGsクラブ**」《ゼロカーボンシティの実現を小中高生の手で》飯能小町公園での廃油を使った発電でクリスマスイルミネーションを点灯させたイベント等、体験的な活動を行っています。「**こどもエコクラブ飯能**」ディンプルアート(フロントガラスの廃材から作られた絵具で制作)、服のリサイクル等を行っています。

環境教育を優先的に考えている学校は全国で４割程度というのが現状です。ただ、環境教育によって意識や行動が変わったという人が５割以上おり、また、「環境が人を育てる」というのは教育の根本を示す言葉の一つでもあります。美しい地球を残すための努力としてSDGsも欠かせないことです。

ご紹介したように飯能市内の学校では地道に「環境教育」に取り組んでおり、ご支援の継続を是非よろしくお願いしたいと思います。「学びの改革」「不登校対策」についてもご理解を頂けると幸いです。

本日触れられなかった「キャリア教育」については職業体験等で大変お世話になっておりますが、これも子ども達が未来に輝くために必要な力を育てる重要な教育で、民と官の連携が欠かせません。ご支援のお願いがありましたらよろしくお願いしたいと思います。

2024年４月のプログラム
（ 月間テーマ　雑誌月間 ）

月　日	例会数	行　事　予　定	当　番 [担当委員会]
4．3	3111	【四つのテスト】【結婚・誕生日祝】 卓話「フランス料理の魅力」 小峰敏宏様	内沼君 田中君 [雑　誌]
4.10	3112	休　会（地区大会振替）	
4.17	3113	卓話「知って納得 政治とお金」 飯能RC　本間由也会員	矢島㈮君 吉田㈶君 [プログラム]
4.24	3114	【ロータリーの友】 卓話「Serviceの由来について」 飯能RC　吉島一良会員	山川君 吉島君 [クラブ戦略計画]